

## 八王子市生涯学習審議会会議録（要点筆記）

会 議 名	平成 27 年 3 月 八王子市生涯学習審議会	
日 時	平成 27 年 3 月 31 日（火） 午後 7 時 00 分～8 時 45 分	
場 所	八王子市生涯学習センター 第 2 学習室	
出席者氏名	委 員	三浦眞一 浅井揚三 小倉艶子 尾暮亮 碓井恵夫 小宮山博仁 村上ひろみ 岡本夢乃 柴田彩千子
	事務局	小柳生涯学習政策課長 鶴田主査 川久保主事 新井学習支援課長 村田南大沢図書館長 井上経営管理課長 塩澤施設管理課主任
欠 席 者 氏 名	石川智子 加藤方浩 炭谷晃男 小林正博	
議 事 案 件	≪議題≫ ・八王子市生涯学習プランについて ・第 3 次読書のまち八王子推進計画について ・平成 27 年度生涯学習センターの事業計画について	
	≪報告事項≫ ・教育委員会定例会における関連事項について ・平成 27 年度都市社連協定期総会の開催について	
配 付 資 料 名	・八王子市生涯学習プラン、同概要版、パブリックコメント実施結果 ・第 3 次読書のまち八王子推進計画 ・平成 27 年度生涯学習センター講座開設予定について ・平成 27 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について ・とうきょうの地域教育 No. 119	
	<b>1. 開 会</b> <b>2. 定足数の確認</b> 出席者 9 名、会議の成立を確認 <b>3. 会議録署名委員</b> 尾暮委員を指名 <b>4. 議 事</b>  議事案件 1 八王子市生涯学習プランについて 平成 25 年度の答申から 13 回の審議を重ね、新生涯学習プランを策定。本日の会議では、答申作成・プラン策定を通じた感想や策定過程の課題・今後の改善点などをご指摘いただきたい。  <div style="text-align: right;">説明者：鶴田主査</div> 会 長：パブリックコメント以降の変更点はあるか。 事 務 局：文言調整等の軽微な修正のみであり、大きな変更は加えていない。 会 長：教育委員会で策定しているプランであるため巻頭言は市長だけでなく、教育長も載せてはどうか。 委 員：プラン策定に携わり、学校の現場は社会教育よりも学校教育	

に目が向いていると感じた。今後は、教師が社会教育・生涯学習の視点を合わせもつことが必要である。

委員：生涯学習事業は、教育委員会、教育委員、市長の3者の誰が指揮監督するか。

会長：学校教育にかかわることは教育長が指揮監督をとる。しかし、生涯学習を推進するうえで、子どもや障害者、高齢者など市長部局が大きく関連しており、最終的な統括は市長となっている。

委員：本プランにおいて、放課後子ども教室について触れているが、本市の放課後子どもプランの方向性は。

生涯学習政策課長：平成27年度からは中核市となり、都を介さず、国から直接補助金を受けようになり、今後は学童と放課後子ども教室が一体となって推進する計画を立てることとなる。方向性としては、週5日実施を目指し、学校施設をうまく活用しながら拡大していきたいと考える。

事務局：第2次八王子市教育振興基本計画では、重点施策に放課後子ども教室の推進があり、市として学童と連携した施策の推進が明文化されている。

委員：本プランは5年計画となるが、5年間の予算は措置はしているか。

事務局：現在、本市では基本構想・基本計画である10か年計画「はちおうじビジョン2022」に関連する行動計画「はちおうじビジョン2022アクションプラン」において、向こう数年間の事業予定と実施に伴う予算を示している。本プランは、予算の裏付けに基づく計画ではなく、市の基本的な方向性を示すものである。

会長：次の5年計画の際には、ICTの普及が進むことが想定される。この5年間の準備期間とし、取り組んでいただきたい。また、平成27年度より本市は中核市となり、様々な権限が市に移譲されることをチャンス捉え、中核市としての生涯学習を推進していただきたい。

### 議事案件2 第3次読書のまち八王子推進計画について

パブリックコメント実施以降の変更は学校図書館についての記述の修正と、文言調整である。プランの策定にあたり意見をいただきたい。

説明者：南大沢図書館長

委員：学校に貸し出すように、学童・児童館に貸し出すことはできないか。

南大沢図書館長：現在、団体貸出という制度があり、学童や児童館からの要望により、図書の貸し出しが可能である。一方で、学校図書館の図書を学童に貸し出すことには、学校長の判断となる。

学校図書館の地域利用については、市として方針を定めたため、第一歩として、放課後子ども教室や学童保育で図書館を利用できるよう進めていきたいと考えている。

委員：学校司書について、学生時代に司書資格を取得し、現在は子育てを終えた女性などを対象とした養成講座を実施してはどうか。市民が有する資格を活かし、女性が地域で活躍することにもつながる。

南大沢図書館長：読み聞かせ等のボランティア養成については計画に明記しており、今後進めていきたい。

委員：図書館の利用状況について、南大沢図書館は蔵書が3館の中では1番少ないが、リクエストが多いといえるか。

南大沢図書館長：地域性による結果であると考えている。南大沢はニュータウン地区であり、他の地区と比較してインターネットの利用者が多いのではないかと考える。

委員：リクエストに応じて、蔵書を増やす考えはあるか。

南大沢図書館長：現在、市では書庫の限度量を越えた蔵書があり、古い本を廃棄し、新たな図書を購入している状況である。各図書館で分担し蔵書をもっているが、リクエストのあった図書は、翌日には届くシステムで運営している。

会長：蔵書の保管場所については全国の図書館で問題となっていると思われる。今後、ICT化が進み図書のデジタル化が進むと、図書館に置かれる図書が減っていくことが想定される。学校側として意見はあるか。

委員：本校では図書館が4階にあり利用されにくい。図書館が1階にあると、子どもも保護者も利用しやすくなると感じる。

会長：地域開放するためには、1階にあるのが理想である。

南大沢図書館長：パブリックコメントでは、学校図書館の地域開放について、子どもの安全確保の観点から反対意見があった。学校施設が改修される際等に、昇降口に近い場所への設置等の意見を出していきたい。

会長：本市は全国的に見ても読書推進が進んでいると感じる。おとな・子どもの2本立てで計画を策定する形を今後も続けていきたい。

### 議事案件3 平成27年度生涯学習センターの事業計画について

生涯学習センター3館で実施する講座について、基本的な方針は「八王子ビジョン 2022」「第2期八王子市教育振興基本計画」「八王子市生涯学習プラン」に基づき、市民に広く学習の企画を提供することを目的として実施している。生涯学習の一環として、幅広い分野で実施することを基本に、本市の特色のある講座を開設している。講座開設・講座内容について意見をいただきたい。

説明者：学習支援課長

- 委員：講座受講の対象年齢に制限があるか。  
学習支援課長：高齢者や子ども等、一部受講者を想定し設置している講座はあるが、「市民自由講座」については年齢等の要件を設けない、一般教養の講座である。
- 委員：対象を「子どもと高齢者」にする等、世代を越えて一緒に講座を受講できるような仕組みはどうか。また、内容については、講師が講演を行う一方向的な内容でなく、受講者参加型の双方向的な講座を実験的に実施してはどうか。  
学習支援課長：昨年実施した講座で、想定した年齢層とは異なり、中高生等幅広い年代の方が受講した講座があった。今後検討していきたい。
- 委員：体験型の学習が重要であるが、講座予定一覧では、室外での講座は1講座のみである。消防署等と連携した防災講座や緑地保全(市環境部)などの講座を展開してはどうか。  
学習支援課長：消防署との連携は、過去に救命救急で行ったことがある。消防署の職員による危機管理講座も今年度実施する。環境部には環境部門の専門職員もおり、所管として啓発活動を行っている。連携については今後の課題であり、情報交換しながら進めていきたい。
- 会長：市民講座企画委員の実績はどのくらいか。  
学習支援課長：平成25年度は委員に5名の応募があり、実際に開講されたのは4講座である。平成26年度は、13名の応募で、10講座が開講された。講座全体から見ると、市民企画の講座はまだ少ないが、増加傾向にある。また、市民からの講座企画案で実施した講座が2講座ある。
- 会長：生涯学習は広範囲に渡ることから、専門家の意見も取り入れる必要もあるのではないか。

《報告事項》

- ・教育委員会定例会における関連事項について  
教育委員会定例会の議事案件の中から生涯学習関連事項について報告  
(会議次第2ページ参照) 報告：生涯学習政策課長  
(非公開となっている議案に対する質問については、次回までに回答の可否を確認することとする。)
- ・平成27年度都市社連協定期総会の開催について  
4月18日(土)あきる野市 秋川キララホールで開催  
都市社連協において本市は平成27年度副会長市、平成28年度は会長市となる。 報告：事務局

会 長 : 次回は6月22日(月)午後7時から生涯学習センターにて開催する。詳細は別途事務局より通知をする。本日の会議は以上をもって終了する。

5. 閉 会 (午後8時45分)

上会議録は事実と相違するところがないことを認め、下に署名する。

八王子市生涯学習審議会会長

八王子市生涯学習審議会委員